

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和8年2月24日  
中国運輸局

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
広島市地域公共交通活性化協議会	<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮説の立案</li> <li>データ収集・分析</li> <li>課題の整理</li> <li>課題解決の方向性及び具体策の検討</li> <li>地域公共交通計画の基本構成(たたき台)作成</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズや運行実態など日常的に蓄積されてきた課題を利用者や行政、交通事業者、学識経験者等多様な関係者から抽出し、課題の共通認識を形成した。(令和8年2月3日協議会での協議を予定)</li> <li>今後は運行データ、移動時間データや土地利用データなど多様なデータを収集・分析し、課題を整理した上で、課題解決の方向性及び具体策について、協議会での議論を予定。(令和8年3月下旬協議予定)さらに令和8年度には、今年度の議論を深化させ、最終的に地域公共交通計画として取りまとめる予定。</li> </ul>	A	計画通り事業は適切に実施された。(現在、事業実施中)	<p>・広島市では、近隣の32市町と構成する広島広域都市圏内のヒト・モノの「循環」と地域住民の活動による「循環」を直接支えている「移動」を容易にするため、公共交通を道路と同様に「社会インフラ」と捉えた上で、交通事業者や行政をはじめとした関係者が、交通モードや事業者間の垣根を超えて、地域や他分野(観光・福祉・教育・医療など)を含めて「協調」して運用するものへと舵を切り、公共交通全体をシームレスで、わかりやすく使いやすいものへと抜本的に見直す「広島型公共交通システムの構築」に向けて取り組む。</p> <p>・令和8年度は、多様な関係者が共通の目標を掲げ、今後5年間に実施する具体的な取組を地域公共交通計画に取りまとめる予定としている。</p>	<p><b>【評価できる点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な関係者から利用者ニーズや課題抽出を行った点は評価できる。</li> <li>「広島型公共交通システムの構築」に向けた協議・検討を行った点は評価できる。</li> </ul> <p><b>【期待する取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>
庄原市地域公共交通協議会	<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の現況・交通実態調査</li> <li>問題点・課題等の整理、公共交通ニーズの把握</li> <li>計画の基本方針の検討、施策の検討</li> <li>計画書原案の作成</li> <li>地域公共交通会議の開催</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通会議の中にワーキング会議を設置し、地域公共交通の問題点、望ましい姿、公共交通の役割を議論するなどにより、地域の公共交通の状況を整理した。</li> <li>市民のアンケートにより、移動のニーズを把握するとともに仮設型アンケートにより、拠点整備、定額乗り放題、ドアツードア型、公共ライドシェアの意向を把握することができた。</li> <li>地域に特性に応じた交通体系の構築など、計画の骨子案が作成できた。</li> <li>今後の地域公共交通協議会の検討を経て、地域公共交通計画案として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	A	事業は計画どおり適切に実施している。	<p>課題解決の方向性として、次の6つの基本的な方針を導き出している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域特性に応じた多様な交通サービスの構築、</li> <li>②広域交通ネットワークの維持・強化、</li> <li>③地域拠点を活用した公共交通の充実、</li> <li>④まちづくりや他の分野とも連携した公共交通の魅力向上、</li> <li>⑤利用者の視点に立った情報提供とコミュニケーション、</li> <li>⑥多様な主体との共創による持続可能な公共交通の実現</li> </ol> <p><b>【評価できる点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民へのアンケートや事業者へのヒアリングを基に地域特性に応じたニーズ把握を行った点は評価できる。</li> </ul> <p><b>【期待する取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
坂町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における交通の現況と課題整理</li> <li>・住民、利用者へのアンケート調査</li> <li>・坂町地域公共交通計画の策定</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。</li> <li>・住民、利用者アンケートなどにより、利用者からの改善要望や、非利用者の利用意向等を把握。</li> <li>・公共交通利用者が参加する座談会を開催に加え、運転手へのアンケート等により、現場での問題点を確認。</li> <li>・坂町循環バスの利用促進に向けた課題、施策について検討し、協議会に諮るための計画素案を作成中で、今後の協議会の検討を経て、地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>坂町循環バスの継続可能な運行に向け、抜本的な見直しよりも、利用者の定着や安心感に配慮した、様々な工夫による、利便性の向上と利用のための施策を検討することを基本的な方向性として検討を進めている。座談会などでの対話とデータの組み合わせによる、仮設検証型のアプローチに取組み、今後はアップデートガイダンスを活用しながら、坂町の実情に合った、より効果的な、目標、施策を設定する。</p> <p>なお、令和7年度確保維持事業（地域内フィーダー系統）の活用を見込んでいる。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや利用者座談会によって新たなニーズの把握を行った点は評価できる。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>
大崎上島町公共交通連携協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する現状及び上位計画整理</li> <li>・公共交通に関する住民のニーズ調査・事業者意向調査</li> <li>・課題の抽出</li> <li>・必要な事業や実施主体の検討</li> <li>・協議会開催</li> <li>・計画(案)のとりまとめ</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口・社会経済指標や各公共交通の利用者数、運航経費等の基礎データや公共交通の状況を整理した。</li> <li>・公共交通の町民アンケート調査や交通事業者へのヒアリングを実施し、公共交通に対する課題やニーズを広く収集し、計画内容の検討資料としてまとめた。</li> <li>・素案を作成後、今後の協議会の検討を経て、内容を精査しとりまとめる。</li> </ul>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>・離島という地域性において、公共交通は必要不可欠であるが、利用者数の推移をみると年々減少しており、公共交通の維持にかかる財政負担は増加する一方である。町民アンケートにおいて、各公共交通のニーズを調査したため、その結果を鑑みた上で、既存の公共交通を基盤としつつ、離島自治体に適した新たな交通体系を構築するよう検討する。</p> <p>なお、令和7年度地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通調査事業（地域公共交通アップデート化推進事業））の活用を見込んでいる。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なデータを活用して公共交通の現状を整理しながら、利用者や交通事業者の意見を取り入れた点は評価できる。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>
三江線沿線地域公共交通活性化協議会	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位・関連計画の整理</li> <li>・移動実態およびニーズ把握</li> <li>・データ活用の基礎づくり</li> <li>・地域公共交通の問題点、課題等の整理</li> <li>・ワーキンググループの開催</li> <li>・公共交通計画素案のとりまとめ</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替交通利用者アンケート調査の集計、分析を行い、地域の移動実態やニーズの把握を行った。</li> <li>・アンケートや関係者へのヒアリングをもとに、課題を整理した。沿線市町や交通事業者で構成するワーキンググループにおいて、沿線地域の公共交通の将来像等を検討し、次期計画で取り組む事業や目標値などの検討を行い、協議会で諮るための計画素案を取りまとめた。</li> <li>・今後の協議会の検討を経て、第2期三江線沿線地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	A	計画通り事業は適切に実施された。	<p>三江線代替交通を含む三江線沿線地域における広域的な公共交通ネットワークの充実とともに、誰もが安心して利用できる公共交通を提供することに加え、地域住民をはじめとする様々な方々が関わることであり、沿線地域活性化の礎となる公共交通体系を構築する。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2県・6市町で連携をしつつ、三江線代替交通の将来的な維持発展を見据えて検討を行った点は評価できる。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
真庭市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内公共交通に関する現況調査</li> <li>・利用者ニーズの把握</li> <li>・移動実態調査</li> <li>・地域公共交通会議・分科会の開催</li> <li>・真庭市地域公共交通計画(案)のとりまとめ</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況分析の実施: 本市の地理的条件、医療機関、公共施設および商業施設などの立地条件を整理し、現在の公共交通利用状況を照合・分析することで地域特性を踏まえた公共交通の現状を把握した。</li> <li>・市民アンケート調査に基づくニーズ把握: 令和7年3月に実施した市民アンケート調査の結果に基づき、公共交通の利用実態、頻度および利用意識などを分析し市民のニーズを把握した。</li> <li>・移動実態調査および事業者・広域連携の課題把握: 市民や来訪者の移動実態および交通事業者が抱える課題を把握するため、市内事業者へのヒアリングを実施しました。また、隣接自治体に対しても広域公共交通のあり方についてヒアリングを行い、その課題・要望を計画へ反映させた。</li> <li>・大規模データによる移動ニーズの分析: 県パーソントリップ調査データを分析し、市民の移動ニーズを大域的かつ多角的に把握し、策定する施策の方向性へ反映させた。</li> <li>・地域公共交通会議等における十分な審議: 計画改定の内容について、地域公共交通会議を2回、分科会を1回開催し、十分な審議を重ねた。特に分科会においては、各委員から活発な意見交換が行われ、施策検討の大きな参考とすることができた。</li> </ul>	A	<p>本事業は、アップデートガイドンスに基づき、現況調査や多角的なニーズ把握を実施し、現状診断を行った。その結果を地域公共交通会議で十分に審議したことから、地域公共交通計画の実質化に向けた適切な基礎情報が整備されたと認められる。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の実質化に向け、市と交通事業者が定期的・継続的に連携・共有・協議する場を設けマネジメント・モニタリングチームとして、施策の実施状況や計画の達成状況について自己評価を実施する。</li> <li>・利便増進実施計画を策定し、施策の具体化を進め、利用者利便の維持・確保と、市民参画の仕組みを活用し地域全体で移動を支える、持続可能なスキームの確立を目指す。</li> </ul> <p>【運行効率化に向けた取組に関する具体案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通空白地における運行形態の適正化(コミュニティバス枝線から区域運行への転換等)</li> <li>・幹線路線とデマンド交通の役割分担の明確化(重複区間におけるダイヤ等の見直し)</li> <li>・利用実態およびニーズに基づいたダイヤの最適化</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なデータを活用し公共交通の現状とニーズの把握をした点は評価できる。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>
備前市公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の現状分析</li> <li>・住民アンケート調査の実施</li> <li>・関係者ヒアリング</li> <li>・地域公共交通計画の作成</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備前市では、市営バスや乗合タクシーにより面的には市内全域をカバーする公共交通網を構築できているものの、公共交通の実態分析や住民アンケート調査等による現状診断から、多額の支出に対して非効率な路線の存在やニーズとのミスマッチ、情報提供等の課題を把握した。</li> <li>・関係者ヒアリングでは、他部門が所管する施策との連携や運転者不足等の供給側の視点に立った問題点の把握を行う予定している。</li> </ul>	A	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>各種調査結果より次の課題を抽出しており、今後は関係者ヒアリング等によって課題を掘り下げるとともに、課題への対応方針を検討し、持続可能な地域公共交通を目指す上で必要な施策・事業を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに合わせた交通サービスの提供</li> <li>・公共交通に関するわかりやすさ向上</li> <li>・交通結節点の拠点機能向上</li> <li>・持続可能性の確保</li> <li>・時間的な交通空白への対応</li> </ul>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の現状を分析し、効率的な路線や的確なニーズを把握した点は評価できる。</li> </ul> <p>【期待する取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	
		②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針	評価結果	
周南市地域公共交通会議	<p><b>【事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公共交通等に係る現況等の調査</li> <li>・公共交通に係るニーズ把握と問題点・課題の整理</li> <li>・改訂計画(案)のとりまとめ</li> <li>・地域公共交通会議の開催</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の統計データの収集・整理により、地域特性、公共交通の現状及びその他輸送資源の現状を把握・整理した。</li> <li>・市内4,000世帯を対象としたアンケート調査により、買い物・通院等の移動先、手段、頻度等を把握し、地域全体の移動需要を整理した。</li> <li>・潜在的な公共交通利用の可能性のある市民の状況を整理した。</li> <li>・現行計画における課題や施策に対する評価、今後の方向性も含め、地域にとって望ましい持続可能な公共交通ネットワークの形成にあたっての公共交通の問題点・課題を整理したうえで、改訂計画の案を取りまとめた。</li> <li>・今後、地域公共交通会議での協議やパブリックコメント等を経て、改訂計画を策定する。</li> </ul>	A	計画どおり事業は適切に実施された。	<p><b>【基本方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①鉄道とバスの連携による利便性の高い公共交通ネットワークの形成</li> <li>②健全な公共交通運営に向けた事業環境の確保</li> <li>③多様な主体の連携による公共交通を積極的に利用する環境の創出</li> </ul> <p>※本事業評価提出時点の素案の内容を記載</p>	<p><b>【評価できる点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画との連携の観点から関係部署と丁寧に調整した点は評価できる。</li> </ul> <p><b>【期待する取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画の実質化に向けたアップデートが図られ、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画が実現されることを期待します。</li> </ul>